佐渡市立金井中学校　令和２年７月３０日

金井中だより

〒952-1208　新潟県佐渡市金井新保乙40番地
TEL 0259-63-4107　http://kanai-js.sado.ed.jp/

《本号の内容》

１面　巻頭言
２面　ローテーション道徳
３面　思考力を高める授業
４面　体育祭に向けて
　　いじめ対策推進法

皆様のご支援により　たどり着けた１学期末

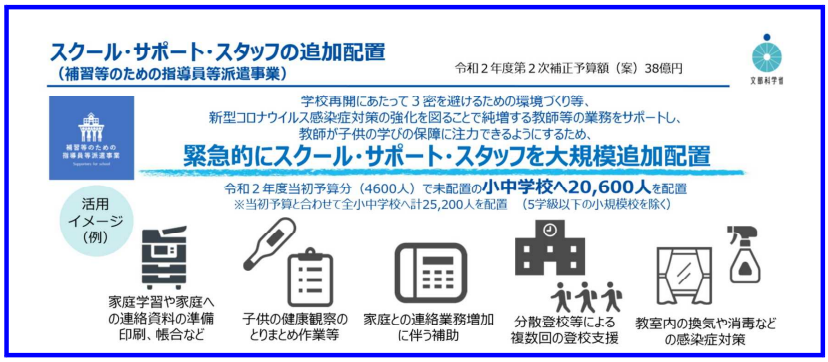
校 長　香 遠　正 浩

１学期は新型コロナウイルスに翻弄され続けました。生徒は楽しみにしていた学校行事や目標としてきた中体連の大会等がなくなり、単調な日々を余儀なくされました。その上、１学期の終了が延長されました。クーラーがないため、熱中症等の心配も加わりました。

そのような中、エアコンが設置されるまでの一時的なものとして、佐渡市が全教室（特別教室と校長室を除く）に「スポットクーラー」（右写真）を設置してくださいました。

また、感染防止対策の「校舎内消毒作業」に、６月22日から14名の保護者（延べ52名）と金井地区民生委員の９名（延べ37名）の皆様からご協力いただきました。職員は生徒と向き合う本来の業務に専念できるようになり、大変助かりました。

このたび県教育委員会は、文部科学省第２次補正予算により下記事業を実施することとなりました。佐渡市でも６学級以上の全ての学校に９月１日からスクール・サポート・スタッフが配置される見込です。当校では、文科省が例示している業務の内、特に印刷や消毒の作業をお願いしたいと考えています。応募してくださる方がいることを願います。



【配置の目的】
　学習プリントや家庭への配布物の印刷のほか、児童生徒の健康観察の取りまとめ、校舎内の換気や消毒などを行うスタッフを配置し教員の負担軽減を図り、教員が児童生徒への指導や教材研究に注力できる体制を整備する。

【配置の期間】
　令和２年９月１日から
　　令和３年２月28日まで

生徒にとって、先が見通せない閉塞感は今も変わりありません。夏休みに入り、家庭で過ごす時間も多くなります。健全で楽しい夏休み生活となるよう、子どもに目を向け、子どもの声に耳を傾けてあげてください。

特別の教科道徳

ローテーション道徳

昨年度から道徳の時間が「特別の教科」となり、これまで以上に生徒が道徳的価値を自分ごととして主体的に考え、対話的な学びを通して自分の価値観を深めることができる授業の実現が求められています。

当校では、今年度から「ローテーション道徳」により授業を活性化させ、豊かな人間性を育んでいます。学級担任だけでなく学年部の全教員が題材を分担し、Ａ・Ｂ両方の学級で指導を行う取組です。以下は、各学年部で指導した１学期の授業例です。

【１学年】

樋口　教諭	金子　教諭	橘　教諭
「言葉の壁は『日本舞踊』で乗り越えた」 日本の伝統や文化を引き継ぐことの価値について考えさせる授業	「ご挨拶の勧め」 挨拶の意味や印象をもとに、挨拶の大切さについて考えさせる授業	「キャッチボール」 きまりや法を守り、住みよい社会をつくることについて考えさせる授業

【２学年】

北　教諭	長谷川　教諭	鍛治山　教諭	霍間　教諭
「車椅子のＪリーガー」 あきらめずに挑戦すること、それを支えることについて考えさせる授業	「夢のリンゴ作り」 希望と勇気や家族生活の充実について考えさせる授業	「家族の絆」 ”血”か”情”か、家族の絆について考えさせる授業	「秘密にしたかったのに」 情報モラル、信頼できる友人関係について考えさせる授業

【３学年】

嶋倉　教諭	中川　教諭	村田　教諭	荒木　教諭
「鏡の中の私」 情報モラルやＳＮＳ上のマナー、いじめ防止について考えさせる授業	「COVID-19（新型コロナウィルス）と私」 これからどう生きるかについて考えさせる授業	「残された水」 瀕死の１名と多数の命の価値について考えさせる授業	「うるわしき伝統」 礼を尽くす、礼儀を守ることについて考えさせる授業

複数の教員から様々な話を聞き、共感したり自分とは異なる考えに出合ったりすることで、生徒に新しい価値観が芽生えることが期待できます。

職員は互いの授業を参観し、生徒の学習状況や道徳性の成長の様子を多面的・多角的に把握しています。その様子については、３学期の通知表所見欄に記載してお伝えします。

１学期の校内研修

思考力を高める授業

当校教員は学びの質の高い授業を目指し、コロナ禍であっても授業研究を進めています。今年度は「思考力を高めるための課題や発問、学び合いの在り方」について研修しています。思考力は知識や技能と異なり、教師から教えられて習得するものではありません。教師からの発問や生徒同士の学び合いにより、生徒が自ら考えることを通して高まります。

概要ではありますが、１学期に行った４つの研究授業について紹介します。

樋口教諭　１Ｂ　国語「花曇りの向こうに」（５月18日）

「花曇りの向こうに」という題名にはどのような意味が込められているのか？

その意味は本文中のどこにも書かれていません。授業者は「花曇りの向こうに何があるのか」「どうすればそこに行けるか」を問い、グループで意見交換をさせました。

その結果、生徒は主人公の状況や心情と結び付け、題名に込められた意味を考え、まとめることができました。

引野教諭　２Ｂ　社会「九州地方」（６月10日）

宮崎平野ではきゅうりを冬に多く栽培するのはなぜか？

その理由を教師が説明してしまえば、生徒は知識として理解できますが、それでは思考力は育ちません。授業者は３つの資料を提示し、それらから読み取れることをグループで話し合わせました。

その結果、生徒は「宮崎平野では気温が高く、冬に他の県がきゅうりを栽培しないし、冬がもうかるから冬に多く栽培する」と、多面的・多角的に考察することができました。

金子教諭　１学年　総合的な学習の時間「Ｋ中フラワー・プロジェクト」（６月30日）

コロナニ　カッテ　サドニ　エガオヲ

当校のこれまでの取組に賛同してくださった佐渡総合高校及び金井生き活き塾から大量の花苗をいただけることになりました。そのことを話し、それらを使ってできることを一人３つずつ書き出させ、ピラミッドチャート（右写真）を使って交流させました。

こうして生徒は総合学習の思考力である探究課題を自ら設定し、第３弾となる「花苗メッセージ」を届けました。

長谷川教諭　３Ａ　数学「２次方程式」（７月15日）

$x^2+6x-5=0$

この２次方程式は未習のため、最初は誰も解けませんでした。解くにはxの係数の半分の２乗の数を両辺に足す必要があります。

授業ではこのことを教師が教えるのではなく、生徒の着想を引き出し、「両辺に９を足すと方程式が解けるわけ」を問いました。

生徒は演習問題に取り組む中で「解くために（　）^{2}の形にすればよいこと」に気付き、計算方法を創り出すことができました。

$$x^2+6x-5=0$$
$$x^2+6x=5$$
$$x^2+6x+9=5+9$$
$$(x+3)^2=14$$
$$x+3=\pm\sqrt{14}$$
$$x=-3\pm\sqrt{14}$$

体育祭結団式（7/3）を終えた思い

今年の体育祭スローガンは「ShowTime～笑顔で終える体育祭。可能性は無限大～」です。

体育祭は学校生活の中で一番大きな行事だと思います。しかし、今年はコロナウイルスの流行に伴い、できることが限られてしまいました。ですが、私たちは自分たちの可能性を信じて体育祭を心から楽しみ、笑顔で終えられるようにしたいです。

既に準備や練習が始まっています。積み重ねたものを当日に発揮し、保護者や地域の皆さんに元気を届けられるよう全校生徒一丸となって頑張ります。

体育祭競技部副部長　土屋　璃実

活躍の記録

【佐渡市バレーボール協会令和元年度優秀チーム賞】　男子バレーボール部

【第75回佐渡陸上競技選手権大会】（７月18日）

中学１年男子１００ｍ	１位	高野　絆
中学男子２００ｍ	１位	河原　寛大
中学１年女子１００ｍ	１位	金子　優生
中学男子１００ｍ	２位	河原　寛大
中学男子１１０ｍＨ	２位	本田　悠惺
中学女子１００ｍ	２位	斎藤明佳里
中学女子砲丸投	２位	土屋　夏海
一般女子３０００ｍ	２位	佐藤　楓華
中学１年女子８００ｍ	３位	菊地　未優
中学女子４×１００ｍＲ	２位	吉田　早希、金子　優生、斎藤明佳里、辻　向葵
中学男子４×１００ｍＲ	３位	石塚　翔太、高野　絆、渡邉　氣円、河原　寛大

【３年生バドミントン交流大会】（７月24日）

女子シングルス１部	３位	海老名彩和

「いじめ」に関する学校の責務

いじめの定義は前号で紹介しましたが、今学期、当校では12件のいじめを認知しました。以下の法律で定められているとおり、学校はいじめを受けた生徒やその保護者に対して、事実関係等その他の必要な情報を提供する責任を有しています。

いじめ防止対策推進法（抜粋）

第28条（いじめを受けた児童生徒及びその保護者に対する情報を適切に提供する責任）

２　学校の設置者又はその設置する学校は、前項の規定による調査を行ったときは、当該調査に係るいじめを受けた児童等及びその保護者に対し、当該調査に係る重大事態の事実関係等その他の必要な情報を適切に提供するものとする。

当校では事案の大小を問わず、聞き取りで明らかになった事実関係（いじめ行為がいつ、誰から行われ、どのような態様であったか、学校がどのように対応したか）について、いじめを受けた生徒やその保護者及びいじめを行った生徒の保護者に説明を行っています。